

【記入例(診断士); A. 継続教育学習・記録申告書の内容を選んで記載する場合】参考-1

土木鋼構造診断士 継続学習・教育記録申告書 (様式)

フリガナ		印	申告日
氏名(署名)			2024年 月 日
勤務先			

* 本申告書は、資格者の継続的な自己能力開発を支援することを目的に行う更新講習修了考査の一環として、ご自身が資格期間中に積まれた**主な学習・教育実績**を確認するためのものです。
* 土木鋼構造診断士の資格を新たに取得もしくは更新して登録された日から現在(申告日)までの期間で、土木構造物に対する点検・診断の技量を維持・向上させるために参加した**主な講習会**や発表などを下記様式の分類に従って記入してください。ただし、鋼構造に関するものを優先して記入してください。また、継続学習・教育の記録が必修を除いて10件を超える場合は**主なものを10件までとし、それ以上の記入は不要**です。

登録番号	SIDE-	対象期間	~	年 月
------	-------	------	---	-----

(1枚目/全 枚)

番号	分類	実施内容	実施日	活動単位
J-①	必修	2024年度土木鋼構造診断士・診断士補 更新講習【更新講習動画(ネット配信)】 主催: 日本鋼構造協会	講習1「構造物の点検・診断のための確認すべき基礎知識」、講習2「最新の法令・基準等の解説」及び、修了考査	更新動画視聴期間 9月26日~10月15日迄 1時30間分
a	a	講習会	*講習会, 研修会, 講演会, シンポジウム等の参加について申告してください。 (講習会名, 主催者)	(時間, 分)
a-①		2023年度土木学会講習会	鋼構造の点検について	2022年10月10日 2時間
a-②				
a-③				
b			受講番号	
b-①		2024 年度「土木鋼構造診断士」修了考査 解答用紙		
b-②		A. 継続教育学習・記録申告書		
b-③		<選んだ番号> a - ①		
c		<選んだ講習会等の名称> 2023年度土木学会 講習会		
c-①		※ a グループの場合は講習会名、bグループの場合は論文タイトル等、cグループの場合は講習会・講演会・委員会の名称を記載すること。		
c-②		B. 業務経歴証明書		
c-③		<「業務経歴経歴」欄に記載した期間> 年 月~ 年 月		
c-④		<「業務経歴経歴」欄に記載した経験業務(業務内容・担当業務等)>		

* 継続学習・教育の記録が1枚に収まらない場合は複数枚に分けて作成してください。その場合は、全てのページに署名を入れてください。